

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	マチゾラ シンサカエマチ	
まちづくり活動名	公共空間（まちの空地）を活用した新たな居場所づくり	
活動地域	新栄町エリア （地下鉄東山線新栄町駅を中心とした徒歩圏内（約400m））	
活動の背景	（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。） ・新栄町エリアは多様な人が暮らすまちであるが、現状は通過するだけの場所となっており、まちなかに休憩や交流できる居場所が少ない。 ・新栄町エリアに本社をおく団体構成企業の社員有志が、<u>まちの一員となりまちの活性化に寄与する取組みをしたいと考え、まず、団体構成員である企業が所有する駐車場敷地を活用し、まちの公共空間を活用した交流空間創出の実証実験を実施した。</u> ・本実証実験の結果、取組みに賛同・協力いただける関係者とのつながりが生まれ、その関係者とともに活動を開始することとなった。	
目的・目標	（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。） ■目的 ・新栄町エリアの公共空間（民間所有地含む）を地域関係者とともに活用し、<u>まちに新たな居場所（マチゾラ）を増やす。</u> ■目標 ・新栄町エリアを多様な滞在・回遊・交流が生まれる、魅力あふれるにぎわい拠点にする。 ・イベントの企画運営の他、目的達成のための取組内容と推進する体制の検討を行い、<u>自立した団体への昇華（例：名古屋市地域まちづくり活動団体への登録）を目指す。</u> ■成果 ・公共空間を自ら活用することにより、<u>来訪及び滞在機会を増やす。</u> ・地域連携により活用する公共空間や活用機会を増やす。 ・取組みの効果的なPRにより、<u>賛同・協働していただける関係人口を増やす。</u>	
活動内容	（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。） ●公共空間を活用したマチゾライベントの継続 ・活動拠点となる公共空間（企業駐車場）を活用した<u>地域イベントを企画・運営を継続する。</u> ・イベントにおいては、昨年度の取組にて把握した取組に協力いただける方（出店者、演奏者等）とともに、各回ターゲットを明確に設定し実施する。 ●自立運営できる組織のあり方を検討、昇華 ・昨年度の取組より、本団体の活動目的に賛同し、ともに活動いただける仲間が増えた。新しいメンバーも含め、本団体の取組内容や取組を推進するための体制等を検討し、任意団体からしかるべき形態の組織への昇華を目指す。	
活動予定期間	2024年6月 ～ 2025年2月	
助成金交付申請額	100,000 円	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
	(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ・地域の一員として、地域の関係者と一緒に公共空間を活用した居場所づくりを行うことで、<u>地域住民とのつながりが持てる。</u> ・昨年度の実施後のアンケート結果から、来訪者から継続した取組みを期待する声が多いことを把握している。また、出店者からもイベント機会があれば声かけすることを求められており、公共空間を活用したまちの居場所づくりを継続することは<u>地域の声にこたえる取組である</u>と考える。 ・本取組を、地域主体による持続的な取組にしていくには、<u>地域関係者との一層の関係構築が必要</u>である。 ・地域イベントを継続することで、<u>団体及び取組みの認知度を高め、イベントにとどまらない多様な活動が継続できる地域まちづくり団体の素地をつくりたい。</u>
審査基準② 実現性	・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
	(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ・これまでの企画への協力者(名古屋文化短期大学、新栄町を中心とした飲食店、葵学区協議会等)に加え、取組みに賛同いただける協力者(イベントへの出店者、東生涯学習センター、エリア内事業者等)との協力できる体制があります。 ・月に1回程度、WEB 併用で定例会を実施しており、企画会議や実施後の改善点等の意見交換を行うことで、次のイベントのターゲット設定や、出店者募集の期間確保、会場レイアウトの修正等、<u>活動内容のアップデートに努めています。</u> ・自立した活動を目指し、昨年度はイベントにおいて出店料の徴収を実施し、助成金補填以外のイベント諸経費を捻出した。 ・イベント活動以外の活動において、助成金を越える部分は、<u>地域の企業等からの協賛金から補填</u>することを想定。 ・取組みの目標や実施状況については、行政関係者と適宜意見交換を行っています。
審査基準③ 発展性	・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
	(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。) ・昨年度の実施を行うなかで、活動に協力いただける方が増え、本団体のメンバーを増やすことができた。また、大学教員やメディア関係者等、活動に賛同の声をいただける協力者の方も増え、本団体の活動に興味を持つ関係人口が増えている。 ・イベント実施において、昨年度、新たな階催場所を1箇所増やすことができ、今年度の取組みは2か所の公共空間の活用をターゲットやイベント内容に応じて使い分ける想定である。 ・出店者の募集を行ったこと、メンバーを増やしたことで、<u>イベントコンテンツ(出店内容、体験プログラム等)の多様化が図れている。</u> ・都市センター主催の交流会で、同様の取組を行う団体(ニシヤマイバショラボ等)とのつながりが生まれ、<u>本団体の目指したい姿が明確になった。</u> ・本取組を通して、<u>新栄町エリアに関わる人</u>に、いつもと少しちがうまちの様子、こんな居場所があったらいいなという気づきの機会をつくることで、<u>地域への愛着醸成を目指す。</u> ・本助成を活用することで、<u>これまでの活動を継続</u>できるとともに既に同様の取組を実施している団体とつながりができ、目的実現にむけた活動内容のや体制の検討を行うことで、<u>活動を継続・発展できる組織へと昇華できる。</u>

- 3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
① 名古屋市ウォークアブル推進室	① イベントの周知、実施結果の報告
② 名古屋市東区地域力推進室	② イベントの周知、葵学区長をご紹介
③ 葵学区連絡協議会	③ イベントごとに地域回覧のご協力
④ 名古屋文化短期大学	④ イベントの協力および周知依頼
⑤ 名古屋芸創センター	⑤ イベントごとにチラシ配下
⑥ 名古屋市東生涯学習センター	⑥ イベントの周知、生涯学習まつりとの連携

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2024	4	（活動実施） イベント①（助成対象期間外） 昨年度の成果報告	【4/6（土）11:00～】 民間所有地※において <u>休日昼</u> 活用 ※新たな場所で開催
	5	企画会議（定例） 申請書提出	
	6	広報実施 今年度取組の共有 企画会議（定例）	マチゾラメンバーを個別訪問し、今後の取組みについて意見交換を実施予定
	7	企画会議（定例）	
	8	（活動実施） イベント② 企画会議（定例）	【8/2（金）18:30～】 民間所有地において <u>平日夜</u> の活用
	9	企画会議（定例） …イベントふりかえり 広報実施	
	10	（活動実施） イベント③ 企画会議（定例）	【10/26（土）11:00～】 民間所有地を中心に <u>休日昼</u> の活用 （出店、プログラム、休憩スペース等） ※名古屋文化短期大学との連携 ※東区生涯学習センターとの連携
	11	企画会議（定例） …イベントふりかえり	
	12	企画会議（定例） …次年度以降の取組検討	協力者と次年度以降の継続のあり方を意見交換
2025	1	法人（仮）組織組成準備	
	2	活動報告書提出 法人（仮）組織組成準備 HP作成	
	3	（活動実施） イベント④（助成対象期間外）	【3/上】 民間所有地を中心に <u>休日昼</u> の活用

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	内訳・算出根拠	金 額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				100,000 円
活動経費の内訳	印刷製本費	イベント	地域イベントチラシ 10,000 円（600 枚程度）/回×3 回 ※3 月イベント分は、事前周知のため 助成対象期間内にチラシ作成予定	30,000 円
		組織検討	HP 作成 20,000 円	20,000 円
	消耗品費	イベント	イベント運営に必要な消耗品（2 回分） 装飾品（テント/出店者用スタンド） 除菌シート、アルコール消毒液 7,000 円/回×2 回	14,000 円
	使用料及び 賃借料	イベント	イベント運営に必要な什器等の レンタル費用 ヒーター 36,000 円	36,000 円
支出合計				100,000 円

※1 ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。